

病院問題
立編
公再

全く地方創生ではない 党議員が出雲医療センター訪問

厚労省の公立・公的病院「再編・統合」リスト（約440病院）に出雲市立総合医療センターが含まれている問題で、日



本共産党の大国陽介議員、後藤由美市議らは2月14日、粟稔弘（しずく・としひろ）病院事業管理者、小村信弘事務局長らから実情を聞きまし

ハビリなど地域包括ケアの役割もたしている」と強調。小村氏は人口100万人以上の都市部の病院が再検証の対象になっていないことに触れ、「全く地方創生で

はない」と語りました。大国県議、後藤市議は「医療費抑制のため、各病院の役割を無視した基準で示されたもの。国に実情をしっかりと伝えたい」と応じました。

は「医療施設、病床数▽市民への正しい情報提供や適切な行動の周知徹底▽相談窓口など市民への対応」などを要請。市議団は2月26日から始まる2月市議会でも対策強化を求めることとしています。

仁比 仁比さん、小松さん、共産党入党おめでとうございませう。小松さん、どうぞよろしくお願ひします。仁比 2年前「隠れ共産党宣言」で衝撃を上げた小松さんが今度は入党。それを公にされてから初めてお会いするんですよね。こんなに頼もしいことはありません。私は、「くらしに希望を」と訴えた参議院選挙で、残念ながら3期目の議席に届きませんでした。全国比例の定数50を争って17万票の僅差で51位の次点。この惜敗は次への確かな足掛かりです。こんどこそ野党共闘の勝利と共産党躍進の二つの大仕事を果たさせるために、全力で駆け巡っています。

地域の話 アタタク

南 防災備蓄品整備を 上代議員が要求

上代議員―近年、県内で被災した自治体の防災備蓄品を調べてみると、トイレを多く備蓄していることがわかった。このことは、被災時に必要であったことが伺える。被災自治体の経験も率直に伺い、いつ見舞われるかわからない災害に対し、「年次計画」を持って備えるべきではないか。

防災部長―現在、資機材の確保は市自らの備蓄、国・県からの支援、支援協定を締結している県内の自治体・業者などからの調達で対応し

出 地元商店街守れ 後藤議員が質問

後藤議員―出雲市は大型店の出店や安価な商品を売るスーパーの出店が相次ぎ、今や人口10万人当たりの店舗数は島根が全国一で、特

に出雲が過密状況で地元小売業から悲鳴が上がっている。大型店出店に歯止めをかける条例などが必要と考えるが、どうか。

新型コロナ肺炎 早急な対応を 党松江市議団が市に申し入れ

感染者の拡大が続く新型コロナウイルス対策について、日本共産党松江市議団は2月10日、市に早急な対応を求

めて申し入れました。申し入れでは▽新型コロナウイルスの検査可能施設の有無▽患者が入院でき

経済環境部長―店舗の 出店規制等による商業調

整を行うことは難しいと考える。一方、中小規模事業者から色々な声を聞いており、今後も振興を図るため、商工団体等と連携しながら販路拡大、人材の確保・育成、事業承継の支援策を積極的に実施していく。（「ごとう由美の市議会報告」より）

津 西日本豪雨被災家屋 解体補助活用せず

2月12日のNHK報道では「西日本豪雨で全壊・半壊の判定を受けた家屋の解体費用について、国（環境省）が『罹災証明があれば無条件で全額を補助する』と制度を拡充したが、大きな被害を受けた自治体では、

江津市のみが活用しなかつた

江津市内の被災家屋の判定は全壊48棟、半壊119棟に上り、報道を受けて党市委員会には市への憤りや今後の対処相談が寄せられています。党市議団の多田伸治市

議が市の担当課に問い合わせると、担当課は「島根県から送付された環境省・18年8月3日付『事務連絡』では『生活環境保全上の支障となつている損壊家屋』と速やかに解体・撤去作業を行う必要がある」とあり、対象となる家屋がないと判断した」と答えました。環境省は「条件に解体の緊急性等は関係ない。制度の活用は自治体の判断」と回答しています。（「いついつ民報」より）

仁比 仁比さん、小松さん、共産党入党おめでとうございませう。小松さん、どうぞよろしくお願ひします。仁比 2年前「隠れ共産党宣言」で衝撃を上げた小松さんが今度は入党。それを公にされてから初めてお会いするんですよね。こんなに頼もしいことはありません。私は、「くらしに希望を」と訴えた参議院選挙で、残念ながら3期目の議席に届きませんでした。全国比例の定数50を争って17万票の僅差で51位の次点。この惜敗は次への確かな足掛かりです。こんどこそ野党共闘の勝利と共産党躍進の二つの大仕事を果たさせるために、全力で駆け巡っています。

きょう対談にお借りした倉敷市真備町の「ガーベラハウス」は、西日本豪雨災害で大変な被害を受けた被災者のみなさんの生活と生業再建支援のために、みなさんの力でつくった拠点です。小松さんと初めて出会ったのも真備だし、「苦難あるところ日本共産党あり」という立党の原点を確かめる上でもピッタリかと。

小松 仁比さんの惜敗は本当に残念でした。私にとって仁比さんは「災害の仁比」ですね。現地調査をご一緒したときに共産党の人たちが、災害があつたらさあーと駆け付けて、困りごとはないか、今できることはないか、それをすぐ行政に伝えていくとか、その辺の動きの速さ。暮ら

仁比聡平 × 小松泰信 対談①

しに少しでも支障のある人に対して自分たちが関われることはすぐやるという雰囲気が出来上がっている。ますます驚いたし、それこそ尊敬するようになりました。

仁比 ありがとうございます。豪雨も地震も自然現象ですけど、それがなんで災害になってしまふのか。とりわけ、真備のように予測できなかった自然現象から命と生活を守れなかった政治の責任に痛恨の思いがします。特に、社会的に弱い立場に立たされた人々の生活再建は特別の困難があります。それは不可抗力でも自己責任でもありません。

すべての人々の尊厳と生存権を大切に住まいと生業の再建を支援することこそ政治の責任だということ、共産党は格闘の中で学んできた。だからこそ「苦難あるところ日本共産党あり」ところやつと頑張っているんだと思います。

小松 憲法の精神、25条の生存権や基本的人権とかそういうことが、被災者の人権がどうなるのかを、やつと我々が意識するようになってきた。体育館の中であんな段ボール敷きでいいのか。食べ物とか風呂とか着替えとか可能な限り通常の生活を作り出してあげる。これを提供するためにいろんな角度から迫っておられると思います。

仁比 今、小松さんのおっしゃったことが国際人権の水準ですよ。ヨーロッパの避難生活水準に求められている水準と日本の現実が余りにもかけ離れているんじゃないか。温かい食事さえ提供しないとか、西日本豪雨から1年4カ月経つても被災者に襲い掛かっているのは医療費や介護利用料無料の打ち切りや、仮設住宅からも追い出しが始まっている。こんな状況が被災者に起こっている。（続く）



対談する（左から）仁比聡平
前参院議員、小松泰信さん